

### 1. 工法の概要

STS工法は東京精綱㈱で開発されたポストテンション工法で、専用のダブルアクションジャッキを用い12.4mm～21.8mmのPC鋼より線を1本ずつ緊張定着する工法である。その特徴は、

- 1) ジャッキが軽量で、操作が自動化されているので、施工性に優れ緊張作業を迅速に行える。
- 2) ジャッキがダブルアクション式になっており、くさびの強制圧入定着が行えるので、セット量が小さく、確実な定着が行える。

### 2. 定着具

#### (1) 定着具

定着具にはくさび式定着具とPC鋼材にあらかじめ鋼製スリーブを圧着一体化した圧縮グリップ式定着具がある。それぞれの形状寸法を表-1に示す。

#### (2) 支圧板

表-2に標準型支圧板を示す。

表-1 定着具の寸法 (単位:mm)

呼び名		スリーブ		くさび		圧着グリップ	
		A	B	a	b	c	d
7本より	12.4mm	40	45	26.2	40	25.5	55
	12.7mm	40	45	26.2	40	25.5	55
	15.2mm	45.5	50	29.7	45	30.5	70
19本より	17.8mm	50	60	38	60	35	95
	19.3mm	55	65	40	65	38	105
	20.3mm	60	70	42	70	41	125
	21.8mm	65	75	44	75	44	135

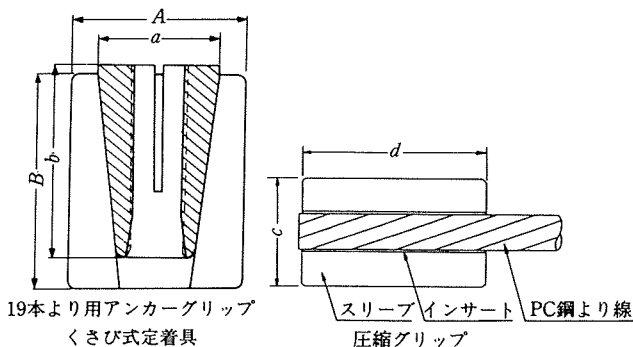
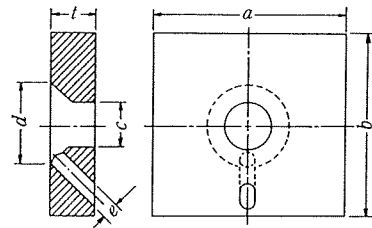
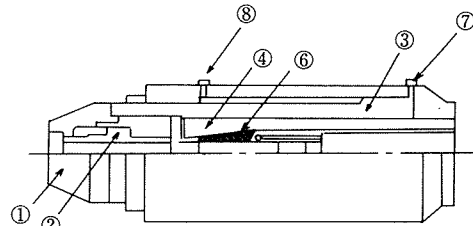


表-2 支圧板の寸法 (単位:mm)

呼び名		a	b	c	d	e	f
7本より	12.4mm	80	80	15	30	10	15
	12.7mm	80	80	15	30	10	15
	15.2mm	100	100	18	37	10	19
19本より	17.8mm	120	120	23	43	10	25
	19.3mm	135	135	23	43	10	30
	20.3mm	135	135	26	52	10	30
	21.8mm	135	135	26	52	10	30



支圧板



- ① 口金
- ② くさび圧入ラム
- ③ メインシリンダー
- ④ 緊張用ラム
- ⑤ プーリングヘッド
- ⑥ くさび
- ⑦ 高圧ホース接続口
- ⑧ 高圧ホース接続口

図-1 油圧ジャッキ

### 3. 緊張方法

この工法に用いられる専用油圧ジャッキ(J-I型)を図-1に示す。このジャッキは緊張・定着が自動的に行え、またPC鋼材の余長が短くてすみ、施工性、経済性に優れている。

セット量は、7本よりで3mm、19本よりで3～4mmである。

なお、緊張可能なコンクリート強度は23N/mm<sup>2</sup>である。